

2023～2024年度
越谷東ロータリークラブ

○ ○
委 員 会 活 動 方 針
年 間 行 事 予 定 表
年 間 プ ロ グ ラ ム 予 定 表
○ ○

会場監督(SAA)

S A A：中村 猛

副SAA：隅田 敏

任 務

会場監督は、例会場の秩序と品格を保持する任務。その他通常その職に付随する任務を行う。

[方針・抱負]

会長要望に応えられます様2名でしっかり務めさせていただきます。

会 計

会 計：宮下智之

任 務

会計は、本クラブの資金をすべて管理保管し、毎年2回及び理事会の要求があったときその説明をする任務、その他通常その職に付随する任務を行なう。会計が退任するときは、保管するすべての資金、会計帳簿、その他あらゆるクラブ財産を、その後任者若しくは会長に引き継がなければならない。

[方針・抱負]

クラブの資金を管理保管し、年次総会時には上半期の中間報告、年次終了時には速やかに年度決算報告を致します。

四半期ごとには、会計帳簿と預金通帳の内容確認を致します。

上期・下期の会費納入の確認を幹事と共に行います。

越谷市野球大会の予算の執行が青少年奉仕委員会の予算からなされるよう留意致します。

会計監査

会計監査：山崎勝己

任 務

会計監査は、会長・会計より報告された当該年度の予算、決算執行を厳密に監査することにある。

[方針・抱負]

会員各位から納入された年会費がクラブ運営のために、適正に会計処理され、必要書類と共に記載されていることの確認をいたします。

会員増強部門

委員長：加藤盛也

小委員長：小林 充 田中基章 五十嵐久幸

任 務

この部門は、クラブ活性化・強化の為、出来る限り若く明るく、優れた人材を増強すると共に新入会員のオリエンテーションまた、現会員の退会防止を考案、実施することを任務とする。

[委員会方針・抱負]

会長要望を実践するために、クラブが更に活性化し発展する事業を勧誘委員会・会員選考維持委員会・オリエンテーション教育委員会と連携して企画していきます。その結果、多くの会員がロータリー活動に対し理解を深めることによって、自信を持って地域で活躍するリーダー的な人材に声を掛けられる様にしていきます。また、女性会員増強にはカウンセラー制度等を丁寧に説明し、不安を取り除き入会に繋げていきます。

会員増強部門
《勧誘委員会》

委員長：小林 充

副委員長：出口 昇

委員：小暮進勇 平野武志

任 務

この委員会は、絶えずアンテナを高く持ち、現会員の協力などを得ながら、会員選考維持委員会と連絡を密にとり、会員候補者を理事会に推薦するよう積極的に努めると共に有効な退会防止策を考案し、実施する。

[委員会方針・抱負]

これまでの経験を活かし、現会員の協力を得て、さまざまな職業の方と交流をはかり、会員候補者の情報収集を行います。また女性を積極的に勧誘し、HPなどを利用して越谷東ロータリーの魅力を伝え、入会の促進を行います。

会員増強し、現会員と新入会員のコミュニケーションを密にとり、信頼関係の構築を行います。そして、会員の意識を高めて増強と会員維持をバランスよく行うために、会員選考維持委員会と協力してフォーラムを開催します。

会員増強部門

《会員選考維持委員会》

委員長：田中基章

副委員長：隅田 敏

委員：北林隆一

任 務

この委員会は、会員候補者として推薦された者について、職業分類と会員資格を調査し、理事会に報告しなければならない。またこの委員会は、毎年度できるだけ早く地元の地域社会の職業分類調査を行い、充填、未充填の職業分類表を作成しなければならない。必要な場合は、現会員の有する職業分類を見直すことができる。

[委員会方針・抱負]

- ①会員候補者が挙がりましたら、推薦された候補者の職業分類と会員資格調査を行い、理事会に報告いたします。
- ②会員の「増強」と「維持」をテーマにしたフォーラムを勧誘委員会と協力して開催いたします。

会員増強部門

《オリエンテーション・教育委員会》

委員長：五十嵐久幸

副委員長：加藤盛也

委員：小林賢弘

任 務

この委員会は、ロータリーの友誌などを使用して、会員に奉仕の心、奉仕の実践に関する情報を提供すると共に、すべての会員を対象とするロータリー研修会を年2回行なう。また会員候補者に対しロータリークラブの会員の特典と責務に関する情報を提供し、入会してから最初の1年間、新会員のオリエンテーションを実施する。さらに、公共イメージ委員会に対し一般向けのロータリー情報を提供する。

[委員会方針・抱負]

すべての会員に対し、有益なロータリーに関する情報の発信源となり、同時に親睦も図ることで会員の満足度向上を目指します。ひいてはクラブビジョン「選ばれるクラブ」への発展の一助になりたいと考え、以下を実践します。

- ①毎月例会において、ロータリーの友の紹介にとどまらず、ロータリーに関する情報の発信を行います。
- ②すべての会員を対象にロータリー研修会としての炉辺会合を年2回実施します。
- ③新会員及び入会3年以内の会員に対しロータリー専門誌「これだけは知っておきたいロータリーの基礎」等を活用し、会員増強部門で連携しオリエンテーションを開催します。

《公共イメージ委員会》

委員長：宮本正行

副委員長：大野豊次

委員：栗田晴巳 鈴木一郎 鈴木裕万

任 務

この委員会は、広く一般に本クラブの奉仕の実践とロータリーの目的、その歴史等について、適切な宣伝を行う方策を考案、実施する。またこの委員会は、クラブ週報の刊行を通じて、会員のロータリーへの関心を促し、出席率の向上と親睦の増進に寄与するため、前回の例会の重要事項を報告し、次回の例会の重要プログラムを予告する。全会員の奉仕活動に関するニュースをロータリーの友誌などに投稿するよう努める。またこの委員会はITおよびSNSを利用し地区、クラブ等の情報をすべて管理し、これを速やかに関係各会員、各委員会等へ伝達するものとする。

【委員会方針・抱負】

- ①例会および各事業で週報担当者を決め、当日の週報データ（写真・原稿等）を収集します。
会員の皆様には、週報の原稿提出と締め切り厳守をお願いします。
- ②クラブのホームページを更新します。
- ③ロータリークラブの活動をホームページ・SNSなどを活用し、一般向けに情報の発信に努力します。また越谷市高校野球大会を青少年奉仕委員会連携し、メディアなども活用し力します。また越谷市高校野球大会を青少年奉仕委員会連携し、メディアなども活用し越谷市民への発信を検討します。
- ④マイ・ロータリーへの全会員登録に向け努力します。

クラブ管理運営部門

委員長：浜野隆浩

小委員長：株竹眞次 青木伸翁 石渡 毅 鈴木一郎 竹内達也

任 務

この部門は、五大奉仕部門のうちの「クラブ奉仕部門」であり、親睦のうちに、クラブ内部に関する委員会活動を行い、クラブの各機能を充実させるとともに、会員一人ひとりが自己を高め「奉仕の心を育成する」ことに関する包括的な立案と実施を任務とする。

[委員会方針・抱負]

クラブ管理運営委員会の役割は、クラブの効果的な管理運営に関する活動を実施することです。ロータリークラブは、クラブの効率的な運営を通じてはじめて、地域社会に奉仕を提供し、会員を維持し、クラブや地区のひいてはリーダーを生み出せるように活動していきます。

- ・例会や特別プログラムを企画する。
- ・会員間の親睦を図るための行事や活動を企画する。
- ・他にもクラブを効果的に運営するためのあらゆる活動を行う。

クラブ管理運営部門

《未来委員会》

委員長：株竹眞次

副委員長：岡崎愛子

委員：大内一幸 大沢昌太郎 大野祐肇 守屋トミー

任 務

この委員会は、クラブの発展のため、会員の研修方法の研究と提案をするものとし、研究、提案、検討に当たっては、広く会員の意見を聞き、その意見を反映するよう努めるものとする。

[委員会方針・抱負]

今年度、未来委員会では原点に戻って、そのシステムを未来に反映するには、どのように運営すればよいのか。

また、これからのクラブ活動はどのような考えの基に活動することが望ましいのか、皆様と共に考えたいと思います。

例として、該当年度に行われているクラブ協議会は例会扱いですが、次年度のクラブ協議会、合同委員会（クラブ協議会）も前年度の例会に組み入れは可能か。

交換留学生をあずかる家族（ホストファミリー）をどのように選考するのが望ましいか。

すでに討議されている、財団・米山の寄付は強制なのか任意なのか等など、皆様と共に模索して行きたいと考えています。

クラブ管理運営部門
《プログラム委員会》

委員長：青木伸翁

副委員長：会田皓章

委員：高橋 功 千葉宏之 鈴木二之将 村木龍男

任 務

この委員会は、本クラブの例会および臨時の会合のプログラムを準備、手配する。

[委員会方針・抱負]

クラブ例会は会員が親睦を育み、それをさらに深めるため、またロータリーを学ぶことはもとより、人として学ぶべきすべてのことを学ぶための、最も基本となる大事な会合です。

その大事な例会で行うプログラムがすべての会員にとって参加して良かったと思えるプログラム作りを目指します。

1. 外部卓話そして会員卓話をバランスよく企画し、卓話時間をしっかり確保していきます。
2. 様々な分野のフォーラムを開催し、広く会員の意見を聞く企画をします。
3. 炉辺会合を2回開催します。
4. ロータリー情報の時間をしっかり確保します。

クラブ管理運営部門
《親睦友愛委員会》

委員長：石渡 毅

副委員長：阿部朋博

委員：青柳 聡 秋山 坦 粟屋裕二 飯山勝司 川本賢哉
 出口 昇 仁多見英一 原 美光 富澤春男 宮本正行

任 務

この委員会は、親睦と奉仕は車の両輪の関係にあるとの理念の下、クラブ例会を会員同士が真の友情を結ぶ最良の場とするように努めると共に、会員間の交流と友情を増進させるための諸事業を企画し、会員にそこへの積極的参加を奨励し、実施する。

[委員会方針・抱負]

新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」となったことで、対面でのイベントも開催できる環境となりました。会長要望にもある出席率の低い会員も参加しやすい日程でのイベントを企画実施いたします。

全会員が親睦を図れるイベントとなるよう工夫してまいります。

ぜひ、会員皆様のご協力をいただき明るく、楽しい委員会活動、ロータリー活動となるよう頑張ります。どうぞ、よろしく願いいたします。

クラブ管理運営部門

《出席委員会》

委員長：鈴木一郎

副委員長：永島つる子

委員：畔上順平 榎本裕希 福田悠一 山崎勝己

任 務

この委員会は、本クラブ例会への出席率を高め、例会に出席できない場合のメイクアップを積極的に奨励する。また、原因となる諸事情を調査し、可能な限りこれを除去するよう努める。

[委員会方針・抱負]

1. 例会案内（プログラム）を、会員の皆様に極力早めにご連絡する。
2. 適宜、委員会を開催し、出席率向上のための話し合いを行う。
3. 例会に出席できない場合のメイクアップ、出席不良の原因となる諸事情を調査し、会員の皆様のご協力を得ながらその原因の改善に努める。
4. 出席当番のシフトを決定し、委員会が元気な笑顔でゲストの方、会員の皆様を迎えられるように邁進する。
5. 例会出席率が低下した場合、その原因を解明し出席率の向上を図る。

クラブ管理運営部門
《会場運営委員会》

委員長：竹内達也

副委員長：平林照雅

委員：飯島 昇 梶原直樹 清村忠雄 杉下 智

任 務

この委員会は、例会、その他の会場の設営と司会進行を行う。

[委員会方針・抱負]

- 例会の運営をスムーズに進められるよう準備に努めて参ります。
- 各会員がプログラムを把握できるよう例会次第を各テーブルに配布し、ソングボードの出し入れします。
- ホワイトボードに例会次第の記入を書きます。
- 当日の司会担当者の出欠の連絡確認をします。
- ドア当番表の作成・周知徹底して参ります。

奉仕プロジェクト部門

委員長：北林隆一

小委員長：大野祐肇 飯山勝司 栗屋裕二 鈴木二之将

任 務

この部門は、ロータリーに求められる地元の地域社会及び国際社会における職業上、人道上、教育上の各種ニーズに応える活動の企画と奉仕の実践を任務とする。

[委員会方針・抱負]

奉仕部門4委員会は、奉仕を基礎として世界平和の実現を念頭に活動いたします。会長要望の実現に向けて、他人をおもいやり、他人のために役立とうとするロータリーの理念に従い、奉仕活動の企画を立案し、多くの会員と奉仕活動に積極的取り組みます。クラブのメンバーが奉仕を通じて多くの方々に幸せと感動を伝えられるように活動いたします。

奉仕プロジェクト部門
《職業奉仕委員会》

委員長：大野祐肇

副委員長：杉下 智

委員：大野豊次 川本賢哉 鈴木朝夫 高橋 功 竹内達也
永島つる子 福田悠一

任 務

この委員会は、職業奉仕理念の情報を提供すると共に、本クラブ会員がその職業における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における倫理水準をより一層引き上げるうえに役立つような方策を考案、実施する。

[委員会方針・抱負]

職業人としてのロータリアンの心構えを第1例会において「ロータリーの目的」「四つのテスト」の唱和を行います。また、各会員が、互いの職業について学べるよう会員卓話・外部卓話・フォーラム・職場見学を実施します。

〈第一例会「ロータリーの目的」「四つのテスト」唱和 担当月〉

2023.07月 大野 祐肇・2023.08月 杉下 智 ・2023.09月 大野 豊次
2023.10月 川本 賢哉・2023.11月 鈴木 朝夫 ・2023.12月 高橋 功
2024.01月 竹内 達也・2024.02月 永島 つる子・2024.03月 福田 悠一
2024.04月 竹内 達也・2024.05月 永島 つる子・2024.06月 福田 悠一

※上記、担当月でご都合の悪い場合は大野までご連絡ください。

奉仕プロジェクト部門
《社会奉仕委員会》

委員長：飯山勝司

副委員長：畔上順平

委員：青木伸翁 飯島 昇 五十嵐久幸 大沢昌太郎 梶原直樹
 清村忠雄 小林 充 千葉宏之 中村 猛

任 務

この委員会は、本クラブ会員並びに本クラブが、地域の地域社会、次世代を担う青少年に対する諸責務を遂行するうえで役立つ指導と援助を与えるような方策を考案、実施する。

[委員会方針・抱負]

本クラブの事業の柱でもある社会奉仕プログラムについて、市民まつりでは新しい事業を模索して実施したい思っております。現在では下記の通り検討しております。

①スマイル報告について

各メンバーの協力をしてもらい委員全員で各回の報告に携わって頂きます。

②越谷市民まつり

今年も例年の市民まつりとは違ったプログラムで行うことが決定しております。場所は越谷駅東口メインとなり当クラブで担当していた交通安全パレードは中止となり、代替え案が模索されております。また、インターアクトクラブ（越谷東高校）と行なっている交通遺児募金活動については市民まつり全体との調整になりますが、以前卓話に来ていただいたNPO法人越谷にプレーパークをつくる会と連携し、子供たちが遊べる道具や仕掛けを複数設置し連携を図った事業展開を行いたいと思っております。有料アクティビティーも設置し、募金活動とともに集まったお金を募金に回したいと思っております。

③地区補助金事業と大口枠について

5月の地区補助金大口枠プレゼンにて既に採択が決定しており、残念ながら大口補助金は獲得できませんでした。

地区補助金事業の方は、移動式子ども食堂備品の獲得に結果がき次第動きたいと思っております。

奉仕プロジェクト部門
《国際奉仕委員会》

委員長：粟屋裕二

副委員長：秋山 坦

委員：大内一幸 株竹眞次 富澤春男 原 美光 宮下智之
平林照雅

任 務

この委員会は、本クラブ会員並びに本クラブが、国際奉仕に関する事項においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案、実施する。また、姉妹クラブとの交流を深めるため相互の連絡、調整を行ない、これに加え新しい交流先を模索する。また、本クラブに関係した、青少年交換留学生、米山奨学生、財団奨学生等のネットワーク作りをし、世界的親交を深め、国際親善と平和に貢献する。

[委員会方針・抱負]

- ①台中港北區扶輪社交代式への参加：台中港2024年6月24日
 - ・2023～2024年度時の交代式に参加し、体験（肌で感じた）した事を会員の皆様にPRし、多くの会員が参加する様企画します。
- ②国祭大会への参加：シンガポール2024年5月25日～29日
 - ・本年度は久しぶりのアジアでの大会です。会場を調査（情報）し年度を通してPRし多くの参加者を募ります。
- ③青少年交換留学生の受け入れ・送り出し
 - ・青少年奉仕委員会と情報を共有しサポートして行きます。

奉仕プロジェクト部門
《青少年奉仕委員会》

委員長：鈴木二之将

副委員長：青柳 聡

委員：会田皓章 石渡 毅 榎本裕希 田中基章 仁多見英一
村木龍男

任 務

この委員会は、埼玉県立越谷東高等学校インターアクトクラブを提唱クラブとして、本クラブの会員並びに本クラブが、次世代を担う地元の青少年、インターアクトクラブに対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と支援をして行く。青少年交換留学生在が目的を円滑に達成するために、学校関係、ホスト・ファミリー関係等を支援する。本クラブに関係した、元青少年交換留学生、元米山奨学生、元財団奨学生等のネットワーク作りをし、世界的親交を深め、国際親善と平和に貢献すると共に、明日のロータリアンとしての会員増強に努める。

[委員会方針・抱負]

- ①インターアクトの市民祭りへの活動支援。
- ②インターアクト生が例会に参加できるように支援します。
- ③インターアクトクラブの例会へ参加します。
- ④叡明高校とは有効な関係を保っていきます。
- ⑤国際奉仕委員会に協力をして、就学学友会（フレンズ）の活動を支援します。
- ⑥長年培ってきた各参加高校野球部と越谷東RCの繋がりを引き続き大切に、参加校プラスバンド部により開会セレモニーなどを企画実施致します。より良い地域社会との繋がりがもてるような企画を検討して参ります。
- ⑦越谷東高校と越谷東中学校の中高一貫のインターアクト設立の模索を検討いたします。
- ⑧青少年交換留学生のサポートをいたします。

《ロータリー財団委員会》

委員長：小暮進勇

副委員長：守屋トミー

委員：鈴木裕万

任 務

この委員会は、資金的寄付と財団プログラムへの参加を通じ、ロータリー財団を支援する。

ロータリー月間に有意義な企画。

年次寄付目標

- | | |
|-------------|-------------------------|
| ①クラブ会員一人あたり | 200ドル |
| ②ポリオ根絶 | 50ドル |
| ③ベネファクター | 2名（うち1名は新たな方） 1,000ドル以上 |

[委員会方針・抱負]

- ・ロータリー財団月間（11月）
- ・会長より付託された任務を遵守し各々の目標が達成できるよう努力するとともに会長要望に沿った活動を着実に実施していくことに努めます。

《米山記念奨学委員会》

委員長：栗田晴巳

副委員長：平野武志

委員：阿部朋博 岡崎愛子

任 務

この委員会は、資金的寄付を通じ、日本ロータリーの創立者米山梅吉翁の遺徳を継承するロータリー米山記念奨学会を支援する。

○米山記念奨学会の寄付金、会員一人当たり¥25,000を会員の皆様に寄付をいただけるように理解していただく。

[委員会方針・抱負]

米山記念奨学会は、日本のロータリー独自の奉仕事業であり、国際親善と世界平和に寄与するために始まりました。今日では半世紀以上の歴史を持つ日本最大の民間国際奨学事業となっております。本事業を運営するための財源はロータリー会員の寄付で成り立っています。当クラブにおいても、寄付はもとより、過去何名もの奨学生のお世話をしてきました。会員の皆様には、日本と国際社会の明るい未来のため、本事業へのご理解・ご協力をお願い致します。

1. 会員一人当たり寄付金目標額25,000円以上

(普通寄付5,000円と特別寄付合計)

普通寄付 半期ごとに各クラブで決定した金額

特別寄付 任意でいただく寄付

個人寄付 法人寄付 クラブ寄付 下限上限はない

2. 本制度のご理解いただくため、卓話を企画する。